



東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

2023年度夏季手当に関する申し入れ第1回団体交渉 明るい見通しに基づき全社員と 家族の未来への投資を求める

中央本部は5月26日、本部申11号・2023年度夏季手当に関する申し入れの第1回団体交渉を行いました。

組合側より申し入れの趣旨を説明すると共に、経営側から現状の認識や今夏季手当交渉の基本スタンスについて説明を受けました。

◆ 組合側からの要求趣旨説明

JR東日本の2022年度期末決算は3期ぶりに黒字に転換した。全社員が一丸となって黒字化をめざし、変革のスピードアップのもと、移動需要の創造や新しい暮らしの提案、新領域への挑戦に取り組んだ。

JR東日本の2022年度期末決算は3期ぶりに黒字に転換した。全社員が一丸となって黒字化をめざし、変革のスピードアップのもと、移動需要の創造や新しい暮らしの提案、新領域への挑戦に取り組んだ。

JR東日本の2022年度期末決算は3期ぶりに黒字に転換した。全社員が一丸となって黒字化をめざし、変革のスピードアップのもと、移動需要の創造や新しい暮らしの提案、新領域への挑戦に取り組んだ。

団体交渉の日程決定!

本部申11号
2023年度
夏季手当に関する
申し入れ(第2回)

2023年6月2日(金)
14時30分より

団体交渉に向けて
職場からたたかう
作りだそう!



中央本部は5月26日、本部申11号・2023年度夏季手当に関する申し入れの第1回団体交渉を行いました。

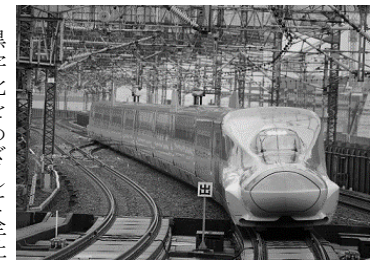
組合側より申し入れの趣旨を説明すると共に、経営側から現状の認識や今夏季手当交渉の基本スタンスについて説明を受けました。

組合側からの要求趣旨説明

JR東日本の2022年度期末決算は3期ぶりに黒字に転換した。全社員が一丸となって黒字化をめざし、変革のスピードアップのもと、移動需要の創造や新しい暮らしの提案、新領域への挑戦に取り組んだ。

JR東日本の2022年度期末決算は3期ぶりに黒字に転換した。全社員が一丸となって黒字化をめざし、変革のスピードアップのもと、移動需要の創造や新しい暮らしの提案、新領域への挑戦に取り組んだ。

JR東日本の2022年度期末決算は3期ぶりに黒字に転換した。全社員が一丸となって黒字化をめざし、変革のスピードアップのもと、移動需要の創造や新しい暮らしの提案、新領域への挑戦に取り組んだ。



均5957円の賃金改訂を実施したが、2021年度に削られた定期昇給2係数相当分が3000円であることを考慮すると実質的なベアは2957円であり、社員の生活や生涯賃金への影響は現在も続いている。

黒字化をめざして全社員一丸となって頑張ってきた中で、管理者層だけの特権的待遇は許さず、賃金改訂における格差を埋め、全社員に平等で公平な成果配分を求める。

2022年度期末決算は増収増益、本業の力を示す営業利益単体は909億円ですが、目標の1000億円には届かなかったことを冷静に受け止める必要がある。

変革2027で想定していた人口減少や鉄道による移動ニーズの減少は、コロナの長期化により加速しているほか、原材料、エネルギー価格の高騰により、厳しい経営環境にあることを強く認識する必要があります。

エネルギー価格の高騰により、厳しい経営環境にあることを強く認識する必要があります。

中央本部が経営側に夏季手当要求の申し入れを提出して以降、東日本ユニオンに対して多くの声が寄せられています。期末手当の基準額は労働組合と会社との団体交渉で決めます。

労働組合に加入する人が増えれば、要求実現に近づきます。東日本ユニオンに加入して、共に夏季手当を勝ち取りましょう!

黒字化を達成したのだからコロナ前の年間6・

3・0ヶ月分支給について
期末手当は社員の生活給となっており、年間6ヶ月以上の期末手当の支給水準を求めていく。過去最高益を更新し続けてきた際は「安定的な支給」という言葉を使い支給水準を抑えられてきた。赤字経営を脱出した今日において、年間最低6ヶ月以上の安定的な支給水準と、黒字化による適正な成果配分を求める。

3・0ヶ月分の特別支給について
コロナ禍の3年間、社員一人ひとりが感染への恐怖と闘いながらも社会的使命を担い、お客さまの大切な毎日を支えるという役割を果たしてきた。グループの必達目標である黒字化を実現してきたことに対し社員の労をねぎらうという趣旨で、特別措置を求める。今年の賃金改善では平

0・3ヶ月分の特別支給について
コロナ禍の3年間、社員一人ひとりが感染への恐怖と闘いながらも社会的使命を担い、お客さまの大切な毎日を支えるという役割を果たしてきた。グループの必達目標である黒字化を実現してきたことに対し社員の労をねぎらうという趣旨で、特別措置を求める。今年の賃金改善では平

0ヶ月に戻すべきだ
●物価上昇が止まらずベースアップ分では追い付いていない。ボーナスで補填するしかない。
●コロナ禍で我慢してきた分を今年はお返ししたい

●様々な施策で社員個々の仕事のボリュームは増えているのに給料が上がった実感がない

●社員も会社の姿勢を見れば辞める人が増える

生活のため夏季手当が必要だ!
JR労働者の声が東日本ユニオンに寄せられる